

大手医薬品卸売 メディセオと物流効率化で業務提携

～ メーカーから医療機関までの一気通貫物流体制を構築し
更なる「医薬品の安定供給」を目指す ～

大塚グループの物流を担う大塚倉庫株式会社（本社：大阪市港区、代表取締役社長 濱長 一彦）と株式会社メディパルホールディングスの完全子会社である株式会社メディセオ（以下、「メディセオ」）は、医薬品市場における物流基盤の強化と効率化を実現するため業務提携を開始しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当社は、物流業界における人手不足やトラック不足が深刻化する中、当社グループの物流の仕組みを活用したメーカーの共同物流（共通プラットフォーム^{※1}）を推進してまいりました。

一方、メディセオは医療用医薬品等のサプライチェーンの最適化を目指し、医療機関への医薬品流通の効率的な物流体制の構築を図っております。

両社は、これまで車両や資材の共同利用の取組みを行ってまいりましたが、近年の少子高齢化や人材不足など厳しい環境の変化に鑑み、双方の強みを活かし、メーカーから医療機関までの全体最適を視野に入れたより包括的な仕組みづくりが不可欠と考え、今回の提携に至りました。企業枠を取り払った取組により、メーカーから医療機関までの医薬品流通全体の共同化を推進してまいります。

両社が蓄積してきたノウハウや人材、資材を融合させていくことで、より高度な医薬品物流の仕組みを構築することで安定供給を図り、医療機関、強いては患者さんに更なる貢献ができると考えています。

■今回の業務提携の主な取組み内容（協議中）

- ・ 資材の共同利用化
輸送・配送時におけるトラック、納品時のコンテナ（詰合せ箱）他
- ・ メーカー物流の構築

大塚倉庫は、大塚グループの企業理念である‘Otsuka-people creating new products for better health worldwide’のもと、人々のより豊かで健康な暮らしに貢献するメーカー物流会社として、今後も引き続き共通プラットフォームによるメーカー同士の物流共同化を進めるとともに、社会に貢献できるプラットフォームづくりを進めてまいります。

以上

※1：大塚倉庫が展開する、食品・飲料・医薬品・日用品の共同物流

【会社概要】

(1) 株式会社メディセオ

- ①商号 株式会社メディセオ
- ②代表者 代表取締役社長 長福 恭弘 (ちょうふく やすひろ)
- ③本社所在地 東京都中央区八重洲2-7-15
- ④主な事業内容 医薬品、医薬部外品、試薬、医療機器等に関する総合卸売業
- ⑤資本金 1億円
- ⑥設立年月日 2004年(平成16年)4月1日
- ⑦決算期 3月31日
- ⑧大株主および持ち株比率 株式会社メディパルホールディングス 100%

(2) 大塚倉庫株式会社

- ①商号 大塚倉庫株式会社
- ②代表者 代表取締役社長 濱長 一彦 (はまなが かずひこ)
- ③本社所在地 大阪府大阪市港区石田1-3-16
- ④主な事業内容 倉庫業および運送事業
- ⑤資本金 8億円
- ⑥設立年月日 1961年(昭和36年)11月22日
- ⑦決算期 12月31日
- ⑧大株主および持ち株比率 大塚ホールディングス株式会社 100%